



## 「進化する鏡石町」のまちづくりに向かって

鏡石町長 遠藤 栄作

町民の皆様には、平成23年の輝かしい新春をご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。私も昨年6月に町長に就任させていただき、新たな気持ちで新年を迎えまして鏡石町のさらなる発展に意を強くしているところがあります。

昨年は、民主党政権が本格的に国政の舵取りを行い、地方としましても、その成果に大きく期待しているところがありますが、なかなか、我々の実感できるような成果が感じられないのが現状であります。また、外交問題が大きく取りざたされ、その影響が我々国民生活、経済活動全般に色濃く反映されたのではないかと考えております。

さて、町の昨年の状況はと申しますと、10月に実施された国勢調査によりまして、昨今の人口減少社会において、町の人口は微増しているとの調査結果が報告されており、今後も多くの皆さんに住んでいただけるような町づくりを進めていきたいと考えております。

私も町長に就任してから半年を経過したところですが、町の財政状況も厳しい状況下であり、引き続き行財政改革に取り組み、健全財政運営を基本とする中で、町民の皆様の期待に応えていく所存であります。

こうした状況下において、昨年は公約に掲げました町長給与の30%削減・町民本位の行政サービスとしての日曜日の窓口延長・町民の総合相談室の開設等をしてまいりました。これからは町民にとって、どうあるべきか、どのように改善すべきかを検討し実行に移してまいります。

また、今後のまちづくりについては、平成24年度から向こう10年間の第5次の町総合計画づくりを昨年の11月から開始し、本年8月を目前に計画案を策定し議会にご提案する予定であり、この計画策定に当たっては町民の皆様の声や計画に反映し皆様と一緒に、人にやさしく、一年中花が咲きほこり、活力に満ちた「進化する鏡石町」の町づくりに向かって、今後とも鋭意努力してまいります。

今後とも町民福祉向上に最善を尽くしてまいりますので、本年も格段のお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、明るく実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 町民と一体の議会活動に向けて

鏡石町議会議長 今泉 文克

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、平素から議会活動に、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、中々不況の殻を打ち破れない平成22年も明け、今年こそはと気分を新たに、心機一転、再出発の機会とお考えの皆様方も多いかと存じます。

お正月は、いつの時でも「もう一度新しく」と、人々に勇気と意欲を与え、限りなく前進する気力を、与えてくれるのだと思います。

町議会としても、昨年1年間を通して様々な議会改革について検討して参りましたが、この4月に行なわれる統一地方選挙での改選にあたっては、議会自らの判断として、議員定数を2名減じた中での選挙戦を迎えることが決定され、新しい基点の始まりとなることが予想されております。

二元代表制の議会は、町政執行の最終決定機関としての責務と行財政運営の監視役という責務を町民皆様方の声を代弁することで、果たしていくこととしておりますが、さらに、本年からは、議会改革の大きな柱となる「議会基本条例」について、制定に向けた協議検討を進めることとしており、まさに新しい時代に進む転機であります。

現在の鏡石町にはハード面ソフト面そして、多方面からの取組みが求められており、教育、福祉、産業等それぞれの分野での町づくりを寄せる大きな課題が山積しております。

町政のみならず、国内外の政治・経済・社会情勢は更に厳しいものがありますが、町民皆様方のご協力なくしては何一つ解決の道を切り開くことはできませんので、議会と町民皆様方が一体となった取組みが重要となります。

本年も、町民の皆様への負託とご期待に添うべく、年の初めに志した計画・信念に基づいて、努力して参りますので、今年もより一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。